

ジャン-クリストフ・ヨッコス(Jean-Christophe Yoccoz)氏(コレージュ・ド・フランス教授)が9月3日に逝去された。享年59歳。専門は力学系理論。

学生時代は国際数学オリンピックに出場し金メダルを獲得したほか、マンデルブロ集合の局所連結性予想の進展などいくつかの力学系の革新的な業績により、1994年にフィールズ賞を受賞した。

小寺平治(こでら・へいち)氏(愛知教育大学名誉教授)が肺炎のため逝去された。享年76歳。専門は数学基礎論、数理哲学。

「明解演習シリーズ」(共立出版)や『新統計入門』(裳華房)など、数学の入門書を多数執筆したことで知られている。

ロジェ・ゴドマン(Roger Godement)氏(パリ第7大学)が7月21日に逝去された。享年94歳。専門は関数解析学。

アンリ・カルタンを師に持ち、1950年代初めの「ニコラ・ブルバキ」の活動的なメンバーの一人として知られる。

ソロモン・ゴロム(Solomon W. Golomb)氏(南カリフォルニア大学教授)が5月1日に逝去された。享年83歳。専門は組み合わせ数学、数論、符号理論。

邦訳された著書に『箱詰めパズルポリオミノの宇宙』(日本評論社)がある。

林一(はやし・はじめ)氏(昭和薬科大学名誉教授)が逝去された。享年82歳。専門は理論物理学、科学史。

理論物理学などの一般向けの科学書を中心に多数の書籍を邦訳したことで知られ、有名な訳書に『エレガントな宇宙』(ブライアン・グリーン著、共訳、草思社)、『ホーキング、宇宙を語る』(スティーブン・ホーキング著、早川書房)、『皇帝の新しい心』(ロジャー・ペンローズ著、みすず書房)、『ゲーデル、エッシャー、バッハ』(ダグラス・ホフスタッター著、共訳、白揚社)などがある。

小誌では、連載「幻想交響学マテーシス」(1991年4月号~1992年3月号)や書評などをご執筆いただいた。

ロイド・シャープレー(Lloyd Shapley)氏(カリフォルニア大学教授)が逝去された。享年92歳。専門は数理経済学、ゲーム理論。

2012年、ノーベル経済学賞を受賞。